



今月の題字  
とりい かいと 君  
(大沢小2年)

# 町のあだい

## ホタテ養殖体験に親子35人 収穫の喜び全身で感じ取る

鯨と海の科学館主催の「ホタテ養殖体験教室」が2月8日、町水産センターで開かれました。昨年4月に耳つりしたホタテの収穫作業に取り組んだもので、町内の小学生とその父母ら35人が参加。漁業の山崎英恭さん(船越)らの指導で直径15センチほどに成長したホタテ貝500個を水揚げし、貝に付着した藻をナタで削り落とす作業に汗を流しました。耳つりした時の貝の直径は5センチほど。参加者は大きく成長した貝を手し、収穫の喜びを全身で感じ取っていました。



## 商店主ら14人が疑似体験 高齢者が買い物しやすい街に

高齢者が買い物しやすい商店街に――。1月29日、町商業事業組合と町社会福祉協議会主催の高齢者疑似体験が行われ、商店主など14人が参加しました。耳栓をして特殊な眼鏡をかけ、手足の関節が動きにくくなる器具を取り付けて、80歳くらいの高齢者の体になった参加者。指導者の指示に従いステッキを手に、実際に歩道や横断歩道を歩いたり、商店で買い物をしたりしました。参加者は「この体験を基に店内の改善などに役立てていきたい」と話していました。



## 大浦保育園でアゲハ誕生 ひと足早い春の訪れ感じる

2月10日、大浦保育園(上野美智子園長・園児27人)の園児が飼育していたアゲハチョウ3匹のうち1匹が羽化しました。誕生したのは体長8センチ前後のキアゲハ。昨年秋に園児たちが同園で借りている畑から幼虫を採取し、職員と園児が大切に飼育しながら毎日観察を続けていたものです。黄色と黒の美しい羽のキアゲハが手から手へと飛び移っていくたびに喜びの声を上げる園児たち。ひらひらと舞うしぐさを見つめながらひと足早い春の訪れを感じていました。

## ガールスカウト 発団10周年記念集会 気持ちも新たに発展誓う

2月15日、本町のガールスカウト県第28団の10周年記念集会が町中央コミュニティセンターで開かれ、団員や関係者など70人が出席しました。同団は平成5年6月に発団以来、チャリティバザーや清掃活動、植樹祭など各種行事への参加など地域社会へ貢献してきました。集会では、団員による「やくそくの歌」の斉唱と「やくそく・おきて」の唱和に続き、団の運営に尽力された方々に感謝状を贈呈。発団と同時に入団した高校生4人による歌「世界に一つだけの花」が披露された後、参加者全員でゲームに取り組むなど、同団のますますの発展を誓い合いました。



## 山田空手道 スポーツ少年団で豆まき 1年間の安全と技の上達願い

2月2日、山田空手道スポーツ少年団と山田・船越柔道スポーツ少年団では、武徳殿で豆まきを行いました。1年間のけいこの安全と技の上達を願い毎年行っているもので、団員や保護者など65人が参加。準備運動と基本技などのけいこ終了後、指導者と団員の代表が「鬼は外、福は内」との掛け声とともに豆やお菓子などをまきました。子供たちは、「福」をつかもうと競って手を伸ばして拾い集め、持参した袋を福豆でいっぱいにしていました。



## 松本定次郎さんに名誉勲章 ブラジルと山田の架け橋に貢献

2月6日、長崎の松本定次郎(74)さんが夫人のトミさん(74)と共に役場を訪れ、日本の文部科学省に当たるブラジル地理学術院勲章局からコメンダドール章(名誉勲章・男爵位)を受章した報告を行いました。松本さん夫妻は平成3年から現在までにブラジルへ4度渡り、日系人に手芸の指導をしたり、ブラジルからの留学生の世話をしたりするなど、国際交流への顕著な功績が認められ、同章を受章したものです。松本さんは「わたしはブラジルの広大な自然や、そこに住む人々の明るさがとても好きです。これからもできる限り続けていきたいですね」と話していました。

